

# 輝く 恵那人

248人目



山岡町 上手向

酒井 怜菜さん (17歳)

## □プロフィール

親元を離れ寮生活を送る済美高等学校（岐阜市）の2年生。7月の広島インターハイ陸上競技では、4×400mリレーの第3走を務め、見事全国優勝を果たした。休日は岩盤浴でリラックスするのが楽しみ。練習後にコンビニスイーツを買うのが自分へのご褒美で、白いたい焼きがお気に入り。



▲仲間とインターハイ優勝を喜ぶ酒井さん(右から2番目)

最高の舞台で最高の記録を  
インターハイで県勢初の全国優勝

7月29日(火)に行われた広島インターハイ陸上競技（4×400mリレー）で、見事全国優勝を果たした済美高等学校。第3走を務めた山岡町出身の酒井怜菜さんは、3年生が並ぶ中、唯一2年生として出場し、堂々たる走りを見せた。輝かしい活躍の裏には、日々の努力の積み重ねがある。姉達の影響で小学校2年生から陸上クラブに入り、基礎を磨いた酒井さん。中学時代には週4日の練習に励み、ジニアオリエンピック県予選150kgや中体連県大会の100kgで優勝するなど頭角を現した。

高校進学では陸上強豪校の済美

高校を選び、親元を離れての寮生

活を決意。「速くなりたい」とい

う思いが強く、家族も背中を押し

た。午前5時に起床し、朝練習の

後授業を受け、放課後の部活まで

行う陸上一筋の生活を送る。厳し

い練習を毎日こなしながら授業に

集中し、学業との両立にも努めて

いる。そんな毎日の中でも仲間と笑

い合う時間が支えだとほほ笑む。インターハイの決勝では、先輩3人に加わる最後の1枠に選抜され、出場メンバー入り。本番では第1走がトップでつなぎ、第2走がリードを広げた。酒井さんは3走として「絶対に抜かれない」とリードを守りきり、アンカーへ。必死でつないだバトンは優勝へと導かれ、このメンバー史上最速のハイ決勝の場でたたきました。

「このメンバーと走る最後の大会。最高の舞台で最高の記録を残すことができて、人生で一番うれしい瞬間だった」と笑顔で振り返る。酒井さんの次の目標は100kgで11秒台を出すこと。仲間と勝利続けたいと語り、これからも大好き陸上と共に、夢へ向かって走り続ける。

※1 正式には、令和7年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秋季全国高等学校選手権大会



9/27-28  
みこしが復活!  
みのじのみのり祭



9/10  
俳優・中村いてう氏  
から歌舞伎を学ぶ

恵那観光大使の大歌舞伎  
俳優・中村いてう氏が三郷  
小学校歌舞伎クラブへの練  
習指導を行いました。児童  
らはいてう氏の話をよく聞  
き、せりふの言い方や動き  
などを学びました。



9/20  
実りの秋に  
次米抜き穂祭



おめでとう  
ございます!☆

9/14  
えなの木、もりの木、  
きになる木コンテスト

9/14  
恵那発明くふう展  
表彰式

9/14  
えなの木、もりの木、  
きになる木コンテスト

## News & Topics

まちのわだい

市のホットなニュースを紹介!

その他の話題はこちらから▶

恵那駅周辺で2025ENA  
みのじのみのり祭が行われ  
ました。訪れた約10万人  
は6年ぶりに復活したみこ  
しや食事を楽しみ、恵那の秋  
を堪能しました。



敬老の日記念事業とし  
て、小坂市長が101歳の  
西尾富枝さん宅と、100  
歳の伊藤俊明さん宅を訪  
れ、長寿を祝って祝状や  
花束などを渡しました。



9/19  
これからもお元気で  
在宅高齢者を訪問



9/26  
市内の食材で  
新商品を開発

東海学院大学(各務原市)の学  
生が市内食材を活用し、柄久保  
棚田ゆず甘酒と恵那鹿ジビエフ  
ランクを商品化しました。



日本プロゴルフゴルドシニア  
選手権で優勝を果たした、明智ゴ  
ルフ俱楽部所属の伊藤正巳さんが  
市長に報告を行いました。